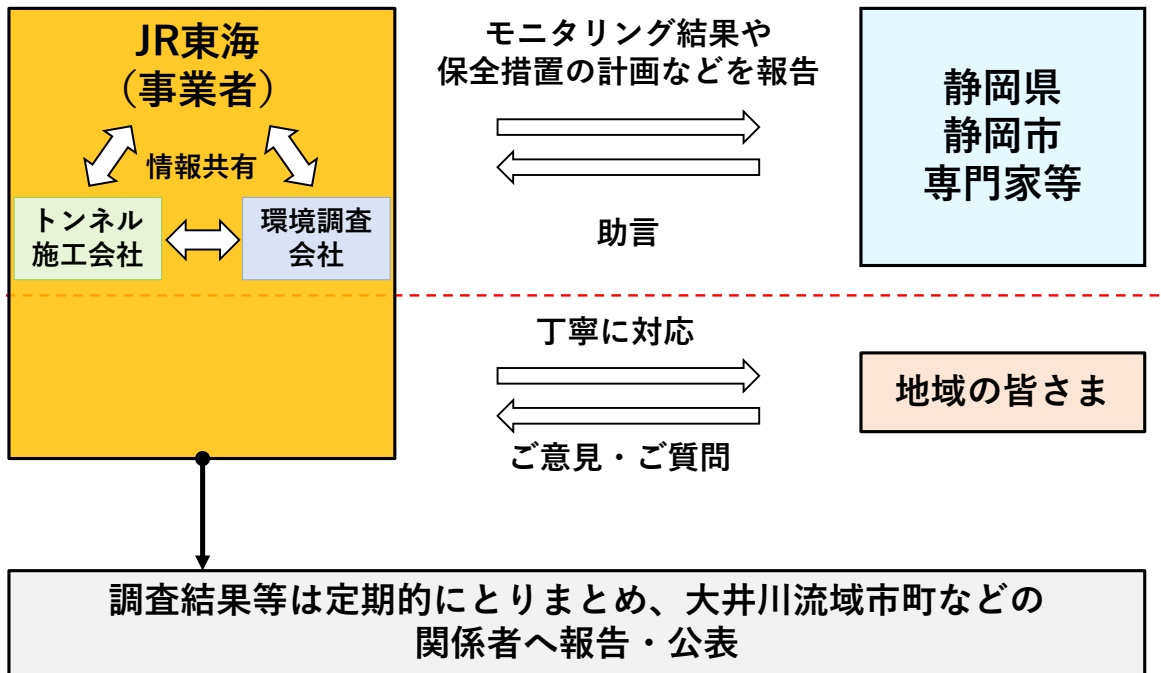


## 7. 環境管理に関する体制及びデータの報告・公表

- ・トンネル掘削工事による南アルプスの自然環境への影響については、多くの不確実性を伴うことから、順応的管理<sup>1</sup>で対応することにより、トンネル掘削工事による自然環境への影響を最小化していくことを考えています。
- ・具体的には、工事前の段階で、不確実性を前提とした影響の予測・分析・評価（仮説の設定）や、モニタリング、保全措置の計画の検討を行います。
- ・そのうえで、工事中はモニタリング、保全措置を的確に実施し、モニタリング結果を踏まえて、必要により影響の予測・分析・評価（仮説の検証）や、モニタリング、保全措置の計画の見直しを行うなど、順応的に対応してまいります。
- ・順応的管理を行うにあたっては、それぞれの取組みについて、モニタリング結果をもとに専門家等のご助言を踏まえて必要な見直しを行っていくことが重要であると考えており、また、こうしたプロセスについて静岡県、静岡市等の関係者の皆さまと共有しながら工事を進めていくことが重要であると考えているため、図 7.1 のような環境管理に関する体制を構築することを考えています。
- ・モニタリング結果を踏まえた対応については、
  - ① 突発湧水の発生時や沢等の管理流量を下回った場合など、迅速な対応が必要となる場合
  - ② 各種モニタリング結果をもとに、定期的に自然環境への影響の予測・分析・評価や適切な保全措置を検討、実施していく場合があります。特に①については迅速な対応が可能な体制を構築します。具体的には今後、静岡県、静岡市等ともご相談しながら検討を進めてまいります。
- ・調査結果等は定期的にとりまとめて、大井川流域市町などの関係者へ報告、公表してまいります。
- ・また、地域の皆さまからのご意見、ご質問に対しては、当社の中央新幹線静岡工事事務所において丁寧にお答えするなどして、地域の皆さまのご安心につなげてまいります。
- ・本章では、トンネル掘削による南アルプスの自然環境への影響に関する管理体制について記載しており、大井川の水資源利用への影響に関する管理体制も含めて、今後、具体的な検討を進めてまいります。

<sup>1</sup> 順応的管理：不確実性の高いものに対し、評価（現状把握）とフィードバックを繰り返し、状況に合わせて適宜追加の対策を講じることに主眼を置いたリスク管理の考え方。（「道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」における環境保全のための取り組みに関する事例集（平成 27 年度版）」、国土技術政策総合研究所）

## 環境管理体制



注：トンネル掘削による南アルプスの自然環境への影響に関する管理体制を示したものであり、大井川の水資源利用への影響に関する管理体制も含めて、今後具体的な検討を進めていく。

図 7.1 環境管理に関する体制（案）